

Oxford 大学での滞在を終えて  
物理工学専攻古澤研究室 博士 2 年 小川尚史

2016 年 4 月 26 日から 7 月 26 日の 3 ヶ月間、ALPS の海外派遣制度を利用し、Oxford 大学の Ultrafast quantum optics and optical metrology グループに滞在し、セシウム原子の D2 線の遷移を用いたラマンタイプの量子メモリの研究を行った。また、滞在期間中にはヨーロッパの他の量子情報関係の研究室も見学した。具体的には、イギリス Bristol 大学の Jeremy O'Brien 教授のグループ、フランスのパリ第 6 大学(ピエール・マリ・キュリー大学)の Julien Laurat 教授のグループや Claude Fabre 教授のグループ、フランスの Institut d'Optique の Philippe Grangier 教授のグループである。

各研究室の訪問時には、私がこれまで行ってきた研究についてのセミナーなども行った。私の所属する古澤研究室と、今回訪問したヨーロッパの研究室は「量子光学」の中でもそれぞれ多少異なる研究を行っている。そのため、質問の傾向が研究室ごとに異なっており、自分の研究について色々な角度から見直す良い機会にもなった。



Oxford のグループのポスドクや学生と BBQ パーティにて。